

占いの真実を語る



星座別

性と愛の真実



目次

星座別 性と愛の占い談義 8

- 性欲が先で愛はあとでいい 8
- ものごとは肉体の欲求から精神の欲求へ変化する 12
- 「愛してるから肉体関係を持ちたい」という男はうそつき 13
- ある占いの達人の物語 14
- 不自由な女性の人生 16
- 占いは科学か？神秘か？ 17

性エネルギーと暴力 19

- 性エネルギーはため込むと暴力的になる 19
- 煙草、口、おしゃべりと性エネルギー 20
- 小泉元総理と性エネルギー 22
- ベトナム戦争と性エネルギー 23
- 放出以外の性エネルギーの循環 25
- 生きているようなミイラはなぜできる？ 27
- 男と女のよもや話し 28
- ある分析的で知的な男の恋愛 30
- いい男とは、いい女とは？ 31
- 売れっ子ホステスは治療師 33
- あるマザコン男の初夜 34
- 愛を論理的に研究するとどうなる？ 35

■相手に期待すると憎むようになる 36

■知性的で理論的な夫 38

■不幸な結婚を繰り返す男 40

■理想の結婚相手の探し方 41

■いい女を抱きたいから男は権力をもちたがるのか？ 42

星座別の性的な特徴 47

■ホロスコープでの性的特徴の見方 47

■おひつじ座とてんびん座 49

■おうし座とさそり座 51

■ふたご座といて座 52

- かに座とやぎ座 53
- しし座とみずがめ座 54
- おとめ座とうお座 55

■星座別の性生活の事例 57

- 【おひつじ座・男】愛よりも挿入 57
- 【おひつじ座・女】男を従わせたい 59
- 【てんびん座・男】心配性、安定を求める 61
- 【てんびん座・女】知的なものに刺激を受けやすい 64
- 【おうし座・男】本音がわからない 65
- 【おうし座・女】要求に応えようとする 67

- 【さそり座・女】まぐわいで神がかり的になる場合も 71
- 【ふたご座・男】遊びでのまぐわいを好む 73
- 【ふたご座・女】操られたい雰囲気 75
- 【いて座・男】グラマーな女性を好む 76
- 【いて座・女】女王様タイプ、男を見下す 78
- 【かに座・男】女性に従うのが好き 79
- 【かに座・女】いちゃつくのが大好き 81
- 【やぎ座・男】良妻賢母を望む 82
- 【やぎ座・女】アブノーマルな性行為はダメ 84
- 【しし座・男】無条件に従わせたい 85
- 【しし座・女】荒っぽいまぐわい 88
- 【みずがめ座・男】知性や雰囲気ですばる 89

- 【みずがめ座・女性】規格外の発想 91
 - 【おとめ座・男】真面目に女遊びをする 93
 - 【おとめ座・女】女を武器にデキル男を狙う 95
 - 【うお座・男】ちよつと変わった感性 97
 - 【うお座・女】MでもSでも要求に激しく応じる 99
- 四柱推命でみる性と愛の相性**
- 101**

星座別 性と愛の占い談義

■性欲が先で愛はあとでいい

筆者は現在婚活中です。五十歳を超えています。若い女性を妻にしたいので悪戦苦闘しながら戦っておりますが、そのなかで、専門の占いを使って、女性達との相性を診断し、また性と愛というテーマを自分を実験材料として研究してきました。その成果の一部を本書で紹介したいと思います。性欲はすべてのエネルギーの根源です。インド医学にはチャクラという言葉があります。そのエネルギーを7段階にわけています。それを説明していきます。

第一チャクラは「生き抜いてみせる」というエネルギーです。食べる、寝る、子孫を残したい、といったことに必要なエネルギーです。**第二**チャクラが発動すると「好きな人と溶け合いたい」という感情を持つようになります。裸を見せあう関係を求めます。ここが不完全だと自分の欠点を相手に見せたくないと、いう心情になります。**第三**チャクラは好きな人と溶け合ったあとの独立、行動、勇氣です。これは他と自分を比較しないチャクラです。**第四**チャクラはハートのチャクラですが、全てを許せる無条件の愛の持ち主で、心配事や苦しみがありません。批判もしません。相手の欠点を許せる愛というのがこの段階です。**第五**チャクラは喉にある創造のチャクラです。未知の中で生きていくチャクラです。愛が完成されてくると創造的になり仕事で成果を発揮するようになっていくわけです。次の段階はもう時代のリーダーになれるチャクラです。**第六**チャクラは、第三の目とも呼ばれ、気づきや洞察力が発動するチャクラです。

第七チャクラは解脱です。理論理屈を越えて、宇宙のリズムの中で一体となって生きていく人といえます。筆者の周囲にはこんな人はもちろんいません。

こういうエネルギーの成長段階を見ていくと、性が先、愛があつというのがよく分かります。日本人女性の普通の感覚は、恋愛が先で結婚が後とというのがありますが、恋愛結婚の30%以上が数年後破綻しているのを見ると、恋愛なくても結婚を先にしてもいいのではないかと思つてあります。実際、男性も女性も本音を見せてくるのは、性的な関係をもつたあとです。愛を一時的に燃え上がるようなものだと勘違いしている人が多いのですが、チャクラの進化の段階をみると明らかのように、愛とは許しあいであり、創造的なものですから、生活の中で育成されるものです。

|  | 特性 | 場所 | 男 | 女 |
|---|-------|-------|----|---|
| 第7チャクラ | 解脱 | 頭頂 | 解脱 | |
| 第6チャクラ | 洞察 | 額 | - | + |
| 第5チャクラ | 創造 | のど | + | - |
| 第4チャクラ | 許し・愛 | 胸 | - | + |
| 第3チャクラ | 行動・独立 | 丹田 | + | - |
| 第2チャクラ | 感情 | 生殖器上側 | - | + |
| 第1チャクラ | 生き抜く | 生殖器下側 | + | - |

【図1】チャクラの各段階の特性

■ものごとは肉体の欲求から精神の欲求へ変化する

先ほどの解説にあつた、チャクラの第一段階から第七段階へのぼつていくところを思い出してみると、最初の段階では、非常に動物的で原始的な発想が特徴で「絶対に生き残つてみせる」という思いが大部分ですが、段階を踏んでいくに従い、徐々に精神的で心情的な発想になり、第四段階までくると博愛的なハートのチャクラにたどりつきます。これが人の進化の普通の流れなのです。

ということとは「愛しているから肉体的な結合をしたい」というのは、ちよつと不自然で違和感があります。まず先に、性的な欲求があつて後で愛が発生するのが本当なのです。先に肉体的な関係があつて後で愛が発生する、実際

はこのパターンのほうが多いのです。しかし、これでは映画になりませんから、「愛している」ということを前提に、肉体的な結合を持つていくのが、文学的でありロマンチックなのです。大衆受けもします。しかし現実には、先に結合があつて後で愛が発生するパターンが多いのです。

■「愛してるから肉体関係を持ちたい」という男はうそつき

ですから女の人は「私を愛しているの？愛しているなら関係を持つてもいいわよ」というセリフは言わないほうがいいのです。これを言ってしまうと男は「うーんそうなのかな」とか「先にセックスしたいだけなのかもわかんない」と不安を感じてしまうのです。自信をもつて、「愛しているよ、だからあなた

とセックスしたいんだ」という男はインチキです。はっきり言ってしまおうとウソつきなのです。

■ある占いの達人の物語

占いに対する先入観や思い込みをなくすために、ある物語を紹介しましょう。四柱推命と紫微斗数推命と西洋占星学などなど、ありとあらゆる占い理論を完全にマスターした人がいました。その人の生年月日は四月一日生まれでした。そして、これまでの自分の人生を運命学を使って分析してみました。「なるほど、交通事故を起こした年は四柱推命占いでみると傷官しょうかんの年だった」「なるほど、株式投資で大失敗をして、大金を失った年は四柱推命占いでみる

と劫財しゅうがいの年だった」「なるほど、彼女ができて楽しかったのは四柱推命占いでみると印綬いんじゆの年だった」

こういった過去の人生を完全に説明できていました。「さて、これで俺の人生は完璧だ。今年はどうなるんだろうか?」「なるほど、今年は財星だ。なるほど、もしかしたら肉親と死別するかもしれないなあ」と思っていました。そのとき「ハハキトクスダカエレ(母危篤すぐ帰れ)」という電報がきました。「ああ、占いのとおり当たってしまった・・・」そして、今まさに死にかけているお母さんのもとに駆けつけました。

そのとき、お母さんは言いました。「すまん、実は隠していることが一つだけあるんだ。お前は未熟児で生まれてしまったから、本当は四月一日生まれで

はないんだ。二月一日生まれなんだ。かわいいそうなんで、二ヶ月くらいサバを読んで伸ばしてしまったんだ。お前が占いに夢中だから、今まで話せなかったんだ。すまん・・・」「今まで学んだ運命学の理論は・・・」

■不自由な女性の人生

女の子は、子供の頃は父親からかわいがられることで、心の安定、物質的な安定を得ることができません。結婚して妻になってからは、夫の世話をし、食事の世話、性の相手、あるいは夫のグチの聞き役をすることによって、心の安定、物質的な安定を得ることができません。母の時代になってからは、息子から世話をされることで心の安定、物質的な安定を得ることができません。そして生涯を

一人で生きていけない不自由さを満喫していきます。

一方で、自由な女性とは、父親から愛されなかった女性は幸いである。夫から愛されなかった妻は幸いである。息子から愛されなかった母は幸いである。なぜならば、自立して生きていく術（すべ）を学ぶからだ。

■占いは科学か？神秘か？

占いは科学だと主張する人と、占いは神秘的なものであると主張する人がいます。では、科学とは一体何ぞや？科学とは実験を伴い、実験結果を確認することで発展するものです。つまり、起こってしまった結果を分析するものが科学です。過去を調べるのが科学です。どんな科学もこれから起こるこ

とを調べることができません。

ですから、これからの世の中が、ああなるとか、こうなるとか、そういうことはほとんど当たりません。占いが科学であると主張する人は、これから起こることを予知することはできません。科学では未来がわからないからです。占いは神秘的なものであると主張する人々がいます。では神秘とは何ぞや？

神秘とは生きている、日々変化する、毎日変わっているということですから、毎日変わっている、日々変化する、毎日変わっていないから神秘的なのです。ですから、占いは神秘的であると主張する人々も、未来を予知することはできません。

性エネルギーと暴力

■性エネルギーはため込むと暴力的になる

全てのエネルギーの根源が性エネルギーであるといいましたが、これを貯め込んでしまうとどうなるでしょうか？性エネルギーを使わずに、放出しないとうなるでしょうか？実は性エネルギーを貯めこむと、暴力的になります。怒りが湧いてきます。暴力的で怒りに満ちてきます。こういう状態に最も向いている職業が兵士です。ですから兵士は、自由に異性と付き合うことを禁止されます。それは暴力的で、怒りがなければ戦場で闘えないからです。スポーツも同様で、大事な試合直前になると一週間とか二週間、性行為禁止となり

ます。なぜか？暴力的で怒りに満ちてないと勝てないからです。

普通の人の場合、性エネルギーが貯め込まれると直接の暴力や怒りではなく、形を変えて出てくることが多いです。例えば車が好きな人はだいたいですピードを出すことで、暴力的な怒りのエネルギーを発散します。スピード違反を繰り返す人は性エネルギーが貯まっています。これは本当です。私がそうでした。数年前に免許が取り消しになりましたが、スピード違反を七回くらい繰り返しました。当時を振り返れば性エネルギーが貯まっていました。放出していませんでした。性エネルギーを放出しないとスピード違反は止まらないのです。

■煙草、口、おしゃべりと性エネルギー

煙草もそうです。口や唇は性エネルギーを解放します。口と唇といえば煙草以外におしゃべりも同様です。女の人で機関銃のようにしゃべる人がいます。全然人の言うことを聞かず、自分のことをしゃべってばかりの人がいますが、そういう人は性エネルギーが貯まっていることが多いのです。欲求不満なのです。

口と唇、食べるという行為も実は暴力や怒りと同じなのです。女の人で欲求不満になって、食べたくないけど食べるという人は、性エネルギーが貯まっているのです。そういう人は性エネルギーを放出しなければ解決しません。彼氏・彼女をつくっていかなければ治りません。

■小泉元総理と性エネルギー

例えば、小泉元総理が二〇〇一年から五年間、総理大臣を務めました。二〇〇六年度に辞めて二〇〇七年に「総理大臣をやっていた五年間一度もまぐわいをしてない」と週刊誌のインタビューに答えていましたが、これは本当なのです。五年間ずっと性エネルギーを貯めていたのです。貯めているからそのエネルギーを怒りや暴力に変えるのです。「自民党をぶっこわせ」と無茶苦茶をやりました。人のいうことを全然聞きませんでした。このエネルギーは怒りと暴力です。性エネルギーを貯めていたのです。奥さんや特定の異性がないから、どんどんそういうことができたのです。性に満足しているとそういうことはできません。

ですから、もし本当に革命的なことをやろうとすると、彼氏彼女をつくらず、

ずーっと性エネルギーを貯めてみるのも一つの方法です。小泉元総理のよう
なことができます。破壊的な革命ができます。

そして、小泉さんは総理大臣が終わった後、彼女をつくりました。すると顔
つきも変わってきて穏やかなおじいちゃんのようにになりました。性エネルギー
を放出したからです。エネルギーを放出すると、暴力的でなく非暴力になり、
やさしくなるのです。

■ベトナム戦争と性エネルギー

また性エネルギーの放出のためには、十分に食べられることが必要です。で
すから豊かな国でなければできません。貧しい国ではできません。貧しい国

では食料を得ることで精一杯ですから性エネルギーは貯まるばかりです。豊かな国だからこそ自由に恋愛ができ、性エネルギーが放出できるのです。

ですから文明の発達した国は、非暴力でやさしいです。性に満足した人は非暴力でやさしいのです。国単位で考えると、ベトナム戦争でアメリカは勝てませんでした。当時のアメリカは豊かな国で、兵士達も自由に恋愛ができました。すると兵士が非暴力でやさしくなるのです。ところが当時のベトナムは貧乏ですから、性エネルギーも貯まっていたのです。ですから怒りと暴力に満ちていました。やさしい人と暴力的な人ではどちらが勝つでしょうか？ 怒りに満ちた人が勝ちます。米国で、ベトナム帰りの兵士が何万人も帰ってきて精神異常者がでてきたのも、やさしいからです。近代兵器をもって人を殺すことはできても結局負けてしまうのです。豊かな国は貧しい国に勝つことができません。

日本も同じです。もし近代兵器をもって北朝鮮と戦争したとします。どんな物量を送りこんでも、戦争に行つた兵士がやさしいですから、精神的に傷ついて何万人もの兵士がおかしくなるでしょう。そういうことが国を駄目にしていきます。ですから豊かな国は貧しい国に戦争で勝てないのです。

最近のアメリカでは、どういう人が兵士に採用されるかという点、貧しい人を兵士として採用しているのです。学費が無くて学校に行けない人を兵士として採用しています。貧しいということは性エネルギーを貯めていますから、怒りと暴力を貯めています。ですから兵士としては都合がいいのです。お金持ちは朝昼晩の三食を十分に食べることができ、彼女もいて優しいので、兵士としては向かないのです。

■放出以外の性エネルギーの循環

普通の人は、性エネルギーが貯まると放出するというサイクルを繰り返しますが、この感覚は男性ならばよくわかると思います。それでは性エネルギーの循環とはこのパターンだけが全てなのででしょうか？先ほどの性エネルギーの循環を、二十歳を越えた頃から始めて、貯めて出すのサイクルを繰り返すと、だいたい五十歳くらいになると「この循環以外に何かあるのではないか？」「これだけではない」と体でわかってくるようになります。

若い時期は、彼氏や彼女をつくって、貯める放出のサイクルを繰り返し返せばいいのですが、それを何十年も繰り返してくると「何か違うな」と感じる段階がやってきます。若い時期は、性エネルギーを熱に変えている循環なのですが、これを光に変えて循環している段階があるのです。さらに外に出すのではなく、内なるエネルギーに変えている人もいます。これは愛の光なのです。

だいたいこういう愛の光を出している人は、非常に大きな仕事をしていたり、革命的な仕事を、しかも穏やかに進めています。そして周りに自然と人が寄ってきます。穏やかなやり方で無理なく人をひきつけて、無理なく事業をすすめて、無理なく革命をすすめていくのです。そういう人が実は何人かいます。性エネルギーを熱ではなく光に変換しています。愛の光です。

■生きているようなミイラはなぜできる？

よく本当に生きているんじゃないかという、肌のつやがピカピカしているミイラが実際ありますが、そういうミイラは、どうすれば、そういう状態で死体が保存できるのか研究してもわかりません。薬品をどう使うかとか、そ

ういうレベルではないので、どんなに科学的に研究してもわからないのです。それではなぜそんなミイラができるのでしょうか？本当に美しく、生きているんじゃないかと思えるようなミイラは、性エネルギーを光のエネルギーに転換できた人が、内なるエネルギーを肉体に貯めて死んでいくときにできるのです。そういうエネルギーを肉体に貯めて死ぬと百万年肉体は腐敗しないといわれています。

■男と女のよもや話し

あるフリーエネルギーの研究に三十年の生涯をかけた天才科学者がいました。あと一步のところまでうまくいきません。あと一步が解決できれば、フリー

エネルギーが完成して大金持ちになれるのに、という状況でした。そのとき助手の一人が言いました。「チベットの賢者で、マダム・フライという女性がいて、その女性は自分のエネルギーを制御して空を飛び、宙を浮くことができるみたいです。博士が解けない問題を、もしかしたら、解いてくれるヒントをくれるかもしれません。チベットへいつてみませんか？」と誘いました。そして、その天才科学者はチベットへ行きました。

ところがマダム・フライに会おうとしましたが、彼女に会うためには雑炊だけで三日間を過ごし、体を清めなければならぬと言われました。仕方なく、天才科学者は雑炊だけで三日間を過ごし、そして体を清め、やつとのことで彼女に面会をしました。マダム・フライは大きなベッドに横たわっていました。そして、スケスケのネグリジェで、乳首もみえるような、そういう状態でした。マダム・フライは言いました。「今日はゆっくりできますわ。夫も街に出かけ

ていませんし、でも質問は一つだけです。それが約束です。私が解答できるのは一つだけです。さあこちらにいらっしやい」と言いました。天才科学者は、その美しいバストに目を魅かれ、ベッドに手招きされ、そして思わずつぶやいてしまいました。「マダム・フライ、ところで、だんなの帰りは何時になりますか？」

■ある分析的で知的な男の恋愛

ある分析的な男が女性を愛しました。まだ出会って三ヶ月です。会う度に、未知のことが発見され、とても感動していました。ついに、旅先で一泊し、男は初めて女性の体を知りました。しかし次の日から、その女性の体の上には、

ほこりが積もりはじめました。もう未知では無くなつたと、男は感じていました。男は彼女を知ってしまったと思っていました。もう他人ではないと思っていました。そのとき神があらわれました。「神が創造した人間というのは無限の存在である。その無限を一晩でどうやって知るといふのかね？そなたは自分のことでさえ知っていない。生きているものは花でも木でも動物でも、毎日、毎月、毎年違うんだ。だから生きてるものは神秘的なんだ。分析して人を知ることなどできやしない」

■いい男とは、いい女とは？

男も女も心の中に毒（不平、不満、恨み）を持っている男は悪い男、悪い女

です。それを見分ける方法ですが、心の中に毒を持っている男ですが、車とかバイクのスピードに懲ります。煙草、お酒、風俗、暴力、こういった他方面で、暴力的エネルギーを発散しようとしています。一方で、悪い女の人は、沢山しゃべること、沢山食べることで暴力エネルギーを発散します。ものを嘯むというエネルギーは暴力エネルギーを発散するからです。ですからしゃべり過ぎの女、肥満的な女は注意であります。

さて、婚活をしている立場から言えば、ちよつと違う見方があります。いい女性とは男性から押されたときにハイと言える勇気のある女性です。そこで不安にならない心情がいいのです。いい男性とはこの女性なら子供を生んで欲しいと思ったら押す勇気のある男性です。もし拒絶されたらどうしようかと不安になる男性はよくありません。

■売れっ子ホステスは治療師

人は皆、自分の欠点や、自分の不義なる思い、欲望を他人に話しても受け入れてもらえないと信じています。友人にも、妻にも、そして恋人にさえ心を開いていません。自分を全面的に受け入れてくれる人が、もし現れるとします。「どんなことを話しても絶対に拒絶されない」という期待があるとしめます。これが愛です。「どんな部分でも受け入れてくれる」と思うと精神は治ります。告白できる人がいない場合、お金を払って自分のことを聞いてくれる人を求めます。それがホステスです。だから売れっ子ホステスは治療師なのです。

■あるマザコン男の初夜

あるマザコン男の子からママに電話がありました。「ママ、妻が裸になってハアハアしはじめたよ。どうしたらいい？」ママは電話で落ち着いてアドバイスをしました。「あなたの体の固くなっているところを妻の中に入れるのよ」息子は電話で聞きました。「妻の中ってどこ？」ママは落ち着いて言いました。「ほら、妻のおしっこをする穴のようになっているところよ」五分後、新婚の妻からお母さんに電話がありました。「お母さん、大変なことをアドバイスしてくれましたね。夫が、頭を便器につっこんで、とれなくなってしまうので救急車を呼んでいるんです」

【教え】

セックスを教えなければならないのは人間だけだ。親が教えなければ

ならない。何の知識もないとセックスができないのは人間だけである。

■愛を論理的に研究するとどうなる？

あるところにとても理論的で頭がいい人がいました。その理論的で頭のいい人が「愛とはなんぞや？」ということを理論的に分析しました。「なるほど、人間の体に流れているホルモン。女性ホルモンは増えている。男性ホルモンも増えている」こういった研究をして分析しました。次に、太陽の日照時間を調査しました。「なるほど、冬から春になって太陽の日照時間が増えると感情が高ぶると」次に血液中の成分を分析しました。「オキシトシンという成分が増えると愛が芽生える、なるほど」

次にセックスについて研究しました。「なるほど、セックスの時間が四十分以上にならないと女性は満足しないのか、なるほど手順はまず胸を愛してから、それから下のほうを愛する。これは女性の胸が電極でいうプラス、女性の股が電極でいうマイナス。プラスからマイナスに電流が流れるからだ」こういう研究をずーっとしました。その結果どうなったか？愛は神秘的ではなくなり、愛に対して関心を失ってしまいました。非合理で、非理論的なものが愛である。

■相手に期待すると憎むようになる

ある男性の医者、美しい女性に出会って恋をしました。その男性の医者のイメージとしては、女性は美しく、愛嬌があり、そして笑顔がやさしく、明るく、自分のことを何でも受け入れる愛情があると、判断しました。（この判断をしたことが重要です。勝手に期待するという意味の判断です）そして女性にプロポーズしました。女性は男に聞きました「年収はいくらですか？両親はいますか？仕事は何をしていますか？」男は医者で、高給取りで、両親はもう他界していて、姑舅がいない金持ちだった。そして女は、その医者が豊かな生活と自由を自分に与えてくれる男だと判断しました（勝手にそのような期待したという意味の判断です）

そして女は結婚を受け入れた。同じ屋根の下で暮らし始めて一週間目、男は肉食主義者であり、女は肉が好きだということがわかった。男は毎晩、妻

に野菜を用意するように言った。妻は野菜は用意したが、自分用のステーキも用意した。妻は男が嫌がる肉食主義者だった。そして食事になるたびに喧嘩になった。二週間目、男は腹の虫がおさまらず、その状態のまま手術をして、そして患者を死なせてしまった。男は患者から何億円もの損害賠償を請求され自己破産した。三週間目、男は離婚した。期待するから憎むようになる、という事例でした。

■知性的で理論的な夫

ある有名な統計学の学者が、その妻と子供五人で川に行きました。妻は言いました。「子供が川で遊ぶのは危ないんじゃないの？だから川には入らないほうがいいよ」理論的な夫は言いました。「まあ、まず計算してみよう。子供

五人の平均身長は、なるほど百四十センチだな」次に夫は、川のあちこちに入つて水深を測りはじめました。「なるほど、川の平均深度は九十センチだな。うん、大丈夫だ。統計学的には川に入つても遊んでも大丈夫だ」妻「あなたの学問は信用できないなあ。株式の投資でも大失敗しているし・・・」子供達「わーい。お父さんがいいっていうなら川で遊ぶよ」

しばらくして、足が届きません。溺れた子供がいました。妻は叫びました。「あなた大変よ！子供が溺れているよ！」夫の学者は言いました「まあ待て。どこで計算が間違つたか考えなければならぬ。考えついた後に相談して欲しい」机上で考えた理が書店に行けばたくさん並んでいます。こうやれば成功するとか、こうやれば投資で儲かるとか、こうやれば不動産投資で儲かるとか、こんな机上の理論は本当に使えるのでしょうか？

■不幸な結婚を繰り返す男

彼の妻はサディストだった。男はいつも顔にアザをつくり、「妻から殴られた、いじめられた」ということを訴え、同情を引いていた。ところが、同情を誘うときの顔が、妙にイキイキしていることが気になった。あるとき彼の妻が両親の死亡のため、実家に一週間帰っていた。そのときの彼は嬉しそうだったか？ いやとても不幸そうだった。妻はどうとう両親の遺産を引き継ぐため、男と離婚して去って行ってしまった。占い師は言った。「またサディストで、あなたをいじめめる女性と結婚するかもしれないから注意しなさい」男は言った。「バカにするな！ どうしてそんなことがあるのか、もうあんな苦労はこりごりだ！」

三ヶ月後、男は再び結婚して、新しい妻から殴られいじめられ顔にアザをつ

くって、それを周囲にみせて同情を引いていた。占い師は言った。「だから言ったでしょう」男は言った。「なぜわかったんですか？そういう運命なのでしょうか？」占い師は言った。「いいえ、ただの繰り返しだからです。あなたは何をやっても同じことを繰り返しています。せめて新しい失敗を發明したらどうなんでしょうか？」

■理想の結婚相手の探し方

ある息子が親族会議を開いて、そしてA子さんと結婚することを親族の前で発表しました。父は言いました。「あいつはお金もつてないよ」母は言いました。「あの人は学歴ないよ」兄は言いました。「あの娘は料理もできないよ」

おばさんは言いました。「あの娘、肌の色が黒いよ」おじさんは言いました。「あの娘の両親とも病気で死んでいるよ」隣のおばさんが言いました。「手に職もないから仕事もできないよ」

それを聞いていた息子は、最後に言いました。「全部そのとおりです。でもA子は僕たち皆にはない長所が一つだけあるのです」皆は聞きました。「それは何だい？」息子は言いました。「うるさい家族が一人もいないことなのです」

■いい女を抱きたいから男は権力をもちたがるのか？

本屋に行くと「どうやったら成功しますか？」という本が沢山並んでいます。「好きなことをやれば成功する」というものがあります。まあ、それもそうです

しょう。「心の中で思えば願いが叶う」というのもあります。まあ、それもそうでしょう。しかし、それを実践することはとても困難です。どこまで実践するとよいかと言うと、自分自身が変化するまでやるのが、本当の成功なのです。自分が変化しない成功は絶対にありません。成功は天運からのご褒美なのですから。

成功の法則とは、結論を言うと「何でもいいのです。完全投入して下さい」です。どのくらい投入するかという後戻りできないほど完全投入して下さい。「もしこうやったらどうなるだろう・・・」とか、「もしこんなことしたらどうなるんだろう・・・」などと考えるヒマがないくらい完全投入して下さい。「これをやって何も起こらなかつたら、もう死のう」というぐらいまで完全投入して下さい。家族があるからできません。子供がいるからできません。社会的地位があるからできません。財産があるからできません。などというよ

うな言い訳を残さなくらいに、後戻りできないくらいに完全投入して下さい。「これで、何も起こらなかつたらもう死のう」というぐらいやって下さい。

そうするとその状態は、過去の全てを殺すのです。自分の過去の知識、思い、トラウマ、全部消えるのです。全部消えて自分の核心、根源に入っていくのです。するとどうなるか？

その次に来るのが、本当の覚醒です。ヨーガで修行するとか、お寺で座禅を組んで覚醒するものではありません。そんなのはインチキです。本当に一番覚醒しやすいのは、一番完全投入しやすいものなのです。もしお金が欲しいならドンドン金儲けをして下さい。必死になって完全投入して金儲けをしたら核心に触れて覚醒します。恋と愛に完全投入できる環境にある人は、恋と愛に完全投入して下さい。そうすると恨み、妬み、嫉妬、怒り、そういうも

のに襲われますから、そういうものをどうぞ力いっぱい感じて下さい。その中に入って下さい。そうすると核心に触れて覚醒します。逃げ場をつくってはダメです。逃げ場のあるズルイ愛し方、戦い方ではダメなのです。

この前、ある今の時代の宗教セミナーに行きました。いったい今の宗教家がどういうことを言っているのか調査のために行きました。フランスの大統領が前の奥さんと離婚して、美人のモデルと結婚しましたが、その現象をみて、その宗教指導者は、なんと言ったかという。「男は世界中で一番いい女とセックスしたいために権力を持つのだ」と言うのです。権力を持つ目的が世界で一番いい女を抱きたいためだと言うのです。これは本当でしょうか？

実はウソです。これは権力も金も持ったことのない人が口にする言葉です。おそらくその宗教指導者は、潜在的に「いい女を抱きたい」という欲求があるのでしょう。だからそういうふうに見えてしまうのです。権力を持ったこ

とのある人はそんなことは思いません。「自分の思い通りに人を動かせる」という権力を味わった人は、いい女を抱きたいなんて思いません。それよりも自分の思い通りに何百人の人間が動くほうが、快感のレベルが遥かに高いのです。遥かに気持ちいいのです。その宗教指導者も、体験してないからわからないのです。いつも逃げ場をつくっているような宗教の活動しかしてないからわからないのです。全然覚醒していません。本当に覚醒しようと思つたら、「後戻りできないほどバカになってやる」というのが結論なのです。

星座別の性的な特徴

■ホロスコープでの性的特徴の見方

星座別の性的な特徴について説明していきます。西洋占星術の十二星座ですが、通常、太陽の入っている星座がその人の特徴的な性を示します。しかし、ある星座に星が集中している場合は、その星座が支配星座になることも多いです。「太陽星座がその人の星座」と単純に思っている人が多いのですが、これは出版の関係上便宜上そうなっているだけです。通常は

3月1日から4月9日は、おひつじ座

4月20日から5月20日は、おうし座

5月21日から6月22日は、双子座
 6月22日から7月22日は、かに座
 7月23日から8月22日は、しし座
 8月23日から9月22日は、おとめ座
 9月23日から10月31日は、てんびん座
 10月1日から11月12日は、さそり座
 11月13日から12月21日は、いて座
 12月22日から1月19日は、やぎ座
 1月20日から2月18日は、みずがめ座
 2月19日から3月20日は、うお座

となっています。

ホロスコープの表示ソフトをお持ちの方は、よく全体の星の集合度をみて、「ある星座に星が集中していれば、そこが支配星座となる」と定義して下さい。お持ちでない方は、通常の星座を見てください。

それでは、まず簡単に十二星座の特徴を説明します。十二星座は男性星座と女性星座が順番に並んでいます。おひつじ座は男性の星座です。次のおうし座は女性星座、次のふたご座が男性星座、次のかに座が女性星座、次のしし座が男性星座、次のおとめ座が女性星座、次のてんびん座が男性星座、次のさそり座が女性星座、次のいて座が男性星座、次のやぎ座が女性星座、次のみずがめ座が男性星座、次のうお座が女性星座となっています。

■おひつじ座とてんびん座

最も男性的なのがおひつじ座です。ですから攻撃が特長です。性の行動においても攻撃的です。女性の場合も同じです。例えば、男性の生殖器を使って自分が楽しみます。自分の快感が中心で相手が気持ちいいとか悪いとかはあまり関係ありません。このような攻撃性です。

それと真反対にあるのがてんびん座です。これはバランスをとりますから、相手のことも気にします。社交性があります。自分と相手の関係をいつも気にします。おひつじ座はあまり気にしません。このように説明してしまうと、一つに決めつけているように思われますが、そうではなく、おひつじ座の性質をトコトンやって突き抜けると、てんびん座のような性質もあらわれると理解して下さい。

実際に鑑定してみると、おひつじ座が支配星座なのに、おひつじ座らしく

ない人もいます。おひつじ座でありながら、グジグジ悩んでいるような弱虫みたいに見える人も多いものです。そういう人はクルッと反対に回って、てんびん座のように相手のことを考える性質もなかなか出てきません。

ところがトコトンまでおひつじ座をやった人は、あるときクルッと回って、てんびん座のような性質も出てくるのです。支配星座を徹底的に使ってしまふと、真反対にある星座の性質が出てくるといふ、神秘的な面が人間にはあるのです。

■おうし座とさそり座

おうし座の特長は物質です。この星座は性だけでは満足できません。愛とか性だけでは満足せず、物質的なものや経済力がともなわないと満足しない

星です。

正反対なのがさそり座です。さそり座は魂からの密着性が特長ですが、密着性の度合いが普通ではありません。魂と魂の触れ合いでなければ満足できない奥深い密着性を求めます。ですから、おうし座は徹底して経済力やモノ、お金など物質的な世界を通りぬけると、知らないうちにさそり座のような、魂の密着性を求めるようになるのです。逆も真なりで、さそり座が「物質は関係ない、魂の触れ合いだ」という世界を追い求めていくと、気がつくと同対側に通り抜けて、おうし座のような性質もでてくるのです。

■ふたご座という座

ふたご座は文字通り、二人の兄弟姉妹というような二面性を持ちます。「ど

「こちらが本当のあなたなの？」と言いたいくらいに、わからないことが多いです。多面的なところがあり好奇心も旺盛です。

一方全く反対なのが、いて座です。これは文字通り、弓矢で目標を射るということで、変わらない探究心を持っています。ふたご座の人は、人から嫌われることがなく、どちらかというと八方美人で人気取りが得意です。ところが、いて座は目標を決めたらバシッと突き進んでしまいますから、人間関係にはトラブルが付きものです。

■かに座とやぎ座

かに座です。かに座のマークは実はシックスナインを文字ついているともいわれています。ですから、そういう密着性を持っています。イチヤイチャし

たいのが、かに座なのです。いつも誰か側にいて欲しいと思っています。

この真反対が、やぎ座です。この星座は結構お堅い存在で、規則とかルールに束縛されやすいところがあります。ですから、性に関しても「堅い」と実際に自覚しているところはありますが、実は内面はそうではありません。「堅くしなければならぬ」「コントロールしなければならぬ」という思いはあるけど、コントロールできなくなるときもあり葛藤してしまう感じなのです。ですから若いやぎ座は、二十代くらいだと年上の男性や女性を求めます。年上のパートナーならば全部自分をさらけ出して変なことをやっても許してくれるからです。そういう思いがあつて年上を好みます。

■しし座とみずがめ座

しし座は、チャホヤされたいと思っています。それと真反対が、みずがめ座です。みずがめ座は、周りから「ちよつと変わっているね」と言われる人です。どちらかという範囲外、規格外を好みます。つまり常識破り、ルール破り、非常識なものを求める人格を持っています。「ちよつとあの人、変わっているね」といわれる感じの人は大体みずがめ座の人です。

■おとめ座とうお座

おとめ座は、分析と実務の星座です。真反対がうお座です。感受性だけです。ですから一番性に関してオープンなもの、実はうお座です。なんでもありです。女の人には水商売をやっている人も多く、男性の場合、何人もの女性経験をしています。それを自慢するわけでもなく普通だと思っています。

正反対の星座をあえてセットにして解説したのは理由があります。「うお座だから自分は○○なんだ」と決めつけしないで下さい。うお座を徹底して使ってみると反対側の性質が出てくるからです。例えば女の人でしたら、徹底して男を食いまくって四十代、五十代となってくると、おとめ座的になってくるのです。いきなり本屋にいつて、高校時代の化学や物理の本を勉強し始めたり、そういうことに興味をもってくる人も多いのです。逆におとめ座で、緻密な税理士や公認会計士をしているような人でも、徹底してそういうことをやっていくと、そこを通り抜けてしまつて、風俗で働いたりする人もいるのです。

■星座別の性生活の事例

それでは、各星座の性生活について、実際の事例を紹介しながら、おひつじ座から順番に説明していきます。筆者は国際結婚の斡旋を十年間くらいやっていました。今まで何十組もお見合いしていただき結婚式、初夜、結婚後という過程をずっとフォローし、調査しています。そのため星座別の性生活についても傾向がわかってしまいます。以下、それらについて実例をあげながら説明していきます。

■【おひつじ座・男】愛よりも挿入

おひつじ座は、本当に攻撃性のある男性と、弱々しい感じの男性に分かれて
しまいます。そして国際結婚の相談にくるような人は、弱々しくみえるタイ
プが多いです。自分に自信がありません。本来、おひつじ座は自分に自信があつ
て、ありのままの自分を出していくものです。ですから性においてもどちら
かというと攻撃的で、愛よりも挿入といったタイプです。ナヨナヨしている
おひつじ座の中にもそういう気持ちはあります。ですから、ある人は新婚初
夜に、激しく乗っかって夜のいとなみをやろうとしたのですが、女性のほう
がビツクリしてしまつて逃げてしまつたのです。それで男性はビツクリして
「結婚したのになんだ！」と文句を言つてきたことがあります。このように
「あまりにも動物的なところがあるのですが、同時に、ちよつとこういう性欲
はよくないんじゃないか」という悩みを持つこともあります。

また一回ベッドインしてしまうと、女性に興味がなくなるという場合もあ

ります。もともとが攻撃的ですから、できれば女性を従順な立場においておきたい欲求があります。ですから襲うことに喜びを感じ、あまり前戯をしないう傾向があります。体位は、男性が上になりたい、あるいは後背位（バック）を好んだりします。そういう攻撃性もありますので、コスプレのような飾って遊ぶようなプレイは嫌いです。これは女性にも同じ傾向があります。

■【おひつじ座・女】男を従わせたい

おひつじ座の女性は、男性に対して自分をセクシーにみせようとしません。実際はセクシーなのですが、それを自慢するとか、自分を神秘的にみせるといった素振りがありません。あつけらかんとします。自分の素をみせます。

ウジウジしていません。「私が欲しいなら誘いなさい！」みたいな感じですが。だからといって素直に男性の誘いにのるのは嫌いです。自分から誘うのがOKなのです。男には従わない、自分が男を従わせるというタイプです。おひつじ座の女性は男を従わせたいので、意外と駄目男と結婚することもあります。そして「こんな駄目男に、私のような立派な女性が側にいてあげるんだから、あなたは私に感謝しなさい」という感じの女性が多いのです。そういう場合、完璧に女性が指導権を握っています。当然まぐわいするときも女性が上で男性が下です。男性が気持ちいいかどうかはあまり関係ありません。「自分が気持ちよくて、快感を感じるべきだ」という思いが最初にありますから、男が先に絶頂にいつてしまつては駄目なのです。それを許しません。ですからサービスタとしての口を使ったフェラチオなどもしません。自分がしたくてするときにはしますが、男に「やってくれ」と言われてするのは嫌がります。ですから男つ

っぽい女性ですから、レズピアンもいるでしょう。ときどき男を誘うこともありますけど、そのとき男は誘いに乗らなくてはいけません。そうでなければ怒ります。あくまでも自分が中心です。これがおひつじ座の特長です。

■【てんびん座・男】心配性、安定を求める

おひつじ座の真反対のてんびん座は、社会性、バランスをとる性質を持っています。実は国際結婚の斡旋をするなかで、てんびん座の人とはあまりいい思い出がありません。どうもやりにくい印象ばかりです。だいたいお見合いしたいという前に、完璧な自分の人生プランを決めてきます。エクセルで資産計画の表をつくって、項目をきちんと埋めて、五年後、十年後、死んだ

後のことまでプランを立ててくるのです。さも「自分は、フィリピンの若い女性と結婚する資格がある」とアピールするのですが、フィリピンの女性にはそんなことをしても響きません。まず、フィリピンには社会保証がありません。ですから年金の話をしてはわかりません。多くの人が銀行口座やキャッシュカードを持っていません。そういう保険などが珍しい国ですから、年をとったら国が面倒みてくれるという発想自体がわからないのです。退職金もわかりません。そんな人に年金、老後、退職金などと朗々と説明しても理解できないのです。ところが、てんびん座は、そういうものを説明したがりません。そういう完璧主義者などところがあります。細かいところが気になるので、神経過敏症のような感じですよ。なんでも心配し、過敏に反応します。

■ある神経過敏な、てんびん座男性

ですから、ある面フィリピンの「何でもあり」のような国民性と相性はいいのですが、国際結婚を斡旋する立場からはやりにくい相手です。自分で決めたことは曲げず、人の言うことを聞かないのでやりにくいのです。またてんびん座の人は、つきあっていくと、安定を求める人が多いですが、日本人女性はそんなにおおらかではないので、てんびん座の神経過敏症的な部分についていけません。ですから日本人女性とつきあっても結婚まで至らない場合が多いのです。ほとんどの場合、完璧にスケジュールや人生計画を立ててきませんが、絶対にそのとおりになりません。全部失敗しています。しかし、完璧なスケジュールを立てないと気がすまない性格なのです。ですから、まぐわいに対しても同様に完璧を求めます。完璧というのは「必ず女性が絶頂に達しなければならぬ」などのしびりがあることです。ですから、手順とかテクニクを一生懸命勉強するのですが、ぎこちないです。そのため逆に女

性はなかなか絶頂にいかないのです。ちょっと心配しすぎて失敗するタイプです。逆に、女性の立場に立つと、彼の言うことは全部無視していいのです。例えば、まぐわいするときでも「私が上になる。あなたの生殖器（オチンチン）を使って楽しむから、あんたは下で寝ておけばいいの」ぐらいの対応のほうが、てんびん座は解放されるのです。一見、主導権がありそうにみえるのですが、本当は主導権を奪ってしまったほうがいいタイプなのです。

■【てんびん座・女】知的なものに刺激を受けやすい

女性の場合も強い信念を持っています。女性の場合、男性のてんびん座ほど神経過敏ではないですが、若く上り調子にある男性を好みます。しかも決定権は自分に持ってきます。若い男性で上り調子にある人を育成したいとい

う欲求を持っています。ですから純粋に恋愛を楽しむという、てんびん座の女性をみたことがあります。だいたいガードが固く、色気は無いほうです。性的な刺激より、知的な哲学、宗教、本などから受ける刺激に興奮するタイプです。そのため口説き落とそうと思ったら「素敵ですねえ」みたいに、ただ誉めても駄目なのです。

■【おうし座・男】本音がわからない

おうし座は物質です。今まで何人もお見合いしていただきましたが、中々本音がわかりません。本音を隠します。例えば、ある六十歳くらいのお金持ち男性のお見合いのケースですが、本人にフィリピンに行ってもらったのですが、あまりにも金持ち過ぎるのです。何十億も資産を持っている人で、少々

心配だったので交通費を出してもらい一緒に現地に行きました。六十代の男性だったので、パートナーとなる女性は三十代そこそこが、せいぜいだろうと思つて何人かお見合いを勧めのですが、どうも気に入らない様子が続きました。そして、なんとその男性は最後の最後で、花嫁候補として来ていた、三十代の女性の連れてきていた十五才の娘がいいと言いだしたのです。事前の打ち合わせでは、若い年の女性がいいなんて一言も口にしていませんでした。候補の女性を一通り見て、最後の最後の面接で「彼女の子供がいい」と言い出すのです。このように、おうし座の人は最後まで自分の目的や欲求を人に悟らせないと気があらず。ですから、表面的な言葉から出る内容はあまり信じられません。本音を悟られないのが得意で、ポーカーフェイスです。顔や言葉から本音がわかりません。

■女性遍歴の多い、あるおうし座の男性

別のおうし座の男性で、非常に女性遍歴の多い人がいました。若い頃はそうでもなかったのですが、年齢と恋愛経験を重ね、あるときから極端な女好きになってしまいました。誰でもいいのです。出会う女性みんなに声をかけてベッドインするようになってしまいました。おうし座の男性には実はこのタイプが多いのです。動機は「自分は女性にもてる資格がある」という思いです。「私と恋愛関係になった女性はラッキーだろ」くらいの感じですが。あくまでも自分の立場が上で、女性が下という感覚をもっています。ですから、女性の体をなめるように愛するのが得意でもあります。

■【おうし座・女】要求に応えようとする

おうし座の女性は、癖がありません。どちらかというとかわいい感じの女性が多く、水商売でも成功できそうなタイプで、かわいい感じの人が多く、いつまでも女の子でありたいというタイプで、男の要求に応えようと努力します。おうし座は女性と男性とはかなり違ってきます。女性の場合、相手の男の欲求に応えて、割りとすぐに体を開く傾向があります。ベッドでの手順も男に要求します。物質欲があるので、お金、経済力、恋を同列にあつかうのが特徴です。

ある取引先の業者の役員におうし座の女性がいました。彼女は会社の取引先の営業マンと恋仲になっていたようで、その後いなくなりました。相手の男性は、やはり彼女が手に入れたと思うていた、技術や経済力を持っている男性でした。おうし座の女性はそういう物質的なものに魅かれ、そこから恋

愛に発展していきます。ですから、技術や資格、お金など、そういうものを持ってない男性には一切魅かれません。恋、物質、経済力が一緒になった感覚を持っているのがおうし座なのです。

■【さそり座・男】処女であることを信じない、ある男性

これと真反対の性質をもっているのが、さそり座です。毒を使って一発で相手を刺し殺すのが、さそり座ですが、この星座の人はものすごく細かくて陰湿な面を持っています。さそり座の人には申し訳ないですが「そこまで？」というところまで人を信用してないところがあります。ある国際結婚をした、さそり座の男性で「どうしても処女と結婚したい」と言う人がいました。処女を實際探してお見合いしたのですが、信用しないのです。ある気に入った

女性がいて「本当に処女だったら結婚してもいいから証明してほしい」と言い出しました。ですから仕方ないので、現地の産婦人科に頼んで調べてもらいました。フィリピンでは日本の「処女でなければ結婚しない」というような慣習は無いので、産婦人科医も初めてのケースでビックリしていました。結局、そこで証明書を書いてもらい結婚し、今その男性は幸せにはなっています。さそり座の男性には、このような要求をする部分があります。

ありとあらゆる疑いの目を持って世の中をみているタイプです。ですから悲観的にものごとを考えるのが大好きで、楽観的に考えることを許しません。「どうして皆、疑わないんだ？」みたいな感覚でいます。ですから自分でも嫌な性格なのはわかっているので、そういう面を嫌に思わずに受け止めてくれる女性を好きになります。おおらかな女性を好みます。「処女の女性をいつも自分の側に置いておきたい」「できれば氷詰めの標本しにて置いておきたい」と

というような欲求を持っています。ですから女性には、たっぷりと愛情を注ぎます。ただし、すんなりとした愛情ではなく、どちらかというといじめに近い愛情です。完璧に支配するような愛し方です。あるさそり座の男性は実際に「女性の肉体を、体の隅々まで楽しむ」と言っていました。そういうタイプです。

■【さそり座・女】まぐわいで神がかり的になる場合も

さそり座の女性の中には、異常なパワーをもっている人がいます。一方弱々しく、全く自分を表に出さない女性と極端に分かれる傾向があります。自分を前面に出している女性は非常にパワフルで、自分をセクシーだと思っています。そして自分の性を仕事に利用し、男を食べてしまいます。そういうありのままの自分を差し出して食べてしまいます。直感で行動し「男が好き

になるのに理屈はいらない」というタイプです。そういう女性ですから、男の気性を理解するのが上手です。男の気持ちを深いところまでわかってくれます。徹底して男を愛しますが「男のものは自分のもの、男の稼いだものは自分のもの」という発想をします。また霊感的なものがある女性も多く、まぐわいの最中に神がかり的になったり、霊的になったりすることも多いです。普段からそういう傾向はあるのですが、特にベッドの中ではその傾向が現われやすいようです。知り合いのある、さそり座の女性が、お母さんの支援を受けているマザコン的な男性と結婚しました。そのお嫁さんは、その義理の母を追い出して、自分がその家の家長のようになってしまいました。一見そんなふうに見えない女性でしたが、結婚四、五年後にはそうなってしまいました。

■【ふたご座・男】遊びでのまぐわいを好む

ふたご座の男性は好奇心旺盛です。世の中の変化や流行など、そういうものにドンドンついていく人が多いです。ですからアイデアマンです。但し、お見合い結婚に関しては、あまりそういう面が働いていませんでした。なんとか女性を自分のものにするという気迫が見えません。実際、お見合いをして結婚した、ふたご座のある男性の例ですが、その人は、お見合いの後、すぐに土地を買いました。フィリピン女性と実際に結婚の手続きをしても、ビザの関係で来日するまでに少なくとも半年くらいはかかるのですが、早々と土地を買ってしまい、家まで建てるといいます。女性と交わるための環境づくりに熱心なのです。その人は「新しい家を買う」という環境づくりに熱心だったのですが、人によって、それがお金になったりします。お金が稼げる男だ

とアピール人もいます。「女性と交わるための環境をつくっているよ」というアピールをします。ですから作り話をしているケースもあります。

■軽薄な女性を選んでしまう場合も

結婚ではなく恋愛の場合、軽薄な女性を選んでしまう傾向があります。ふたご座の男性には、責任をとるのが嫌だという傾向があるからです。責任を背負わされるのを嫌がります。まぐわいをするとしても遊びなのです。楽しみながら遊びながらやりたいのであって、「もし子供ができたらどうしよう」というような心配をしながら、まぐわいをしたくはないのです。ですから軽薄な女性が恋愛対象として選ばれるのです。また好奇心旺盛ですから、ハッキリいうと変態的な行為にも関心があります。ただ深入りはしません。一回やっ

てみて終わります。一回やってみたかっただという程度の変態です。

■【ふたご座・女】操らいたい雰囲気

ふたご座の女性は男性の場合と違い、あまり好奇心旺盛という感じはありません。どちらかというと男性は論理的ですが、女性の場合は全く論理的ではありません。男性に操られたいというふりをします。もろく傷つきやすい雰囲気を持っていて、男性に操られて安心というふりをします。安定を求めるので、波乱万丈で上がり下がりの激しい人生を歩んでいる人や、経済力のない男性には近づきません。まぐわいにおいては淡泊な感じですが、「無ければ無くてもいい、するならするでもいい」という感じですが、やっても表面的で「絶対に感じなければならぬ」というものもありません。「男が満足したなら、

それでよかったね」でおしまいです。自分の快感を求める欲求があまり強くありません。また怖がりなので、性行為で男が無理やりなにかしようとするとうそれはいい」となります。二度とそれを受け付けなくなります。例えばアナルなどのちよつと変態的な体位を試すときには注意が必要です。また安定とか経済的な面を要求しますので、お金を稼げない男性には魅力を感じません。

■【いて座・男】グラマーな女性を好む

ふたご座と真反対にあるのが、いて座です。いて座の男性は癖のあるタイプが多く、組織の中で収まらない人が多いです。新しいものを生み出すタイプなので、思想が自由です。決して常識にとらわれません。むしろ非常識を楽しみます。ですから、皆がやることには関心がありません。皆がやらない

ことに関心があります。例えば株式相場で儲けている、あるいは座の男性がいます。彼は新聞などのメディアが「この世の終わりだ」みたいなことを書きまくっているときや、NHKの夜のニュースの一番目や、世論調査でリーマンショックや〇〇ショックのような言葉が出てきて、株価が暴落している現状をニヤニヤしながら株を買っていく性格です。混乱が大好きで、混乱をみても全く動揺しないタイプです。一般人とかけ離れているという特徴がありますが、女性に対しても強烈な欲望を持っています。ハッキリいうとグラマーな女性が好きです。モデルのような女性が大好きで、性的な欲求もドンドン膨らんで、とんでもないことを言い出す人もいます。例えば、ある精神的集団の指導者で昔いろいろ教えてもらった先生がいますが、その人は自分には奥さんが五人いるというのです。しかも実際の地球上にはおらず、霊的にあの世にいるというのです。一人目の名前が〇〇、二人目の名前が〇〇とまる

で生きているようにしゃべるのです。おそらく、この人は本当はモデルが大好きで、実際の肉体を持った彼女が欲しいのですが、そういう自分の性欲を認めたくないのです、霊的な奥さんをつくってしまったのです。極端な例ですが、こういう発想をするのが、いて座です。

■【いて座・女】女王様タイプ、男を見下す

一方、いて座の女性は束縛されるのが大嫌いです。例えば、社会的に抑圧されてたり、男に虐げられている女性がいると我慢できません。そういう女性を見ると喜んで救いたいと思います。女性の解放が大好きです。いて座の女性は、変わっているというよりはちよつと女王様タイプで男を見下すタイプです。例えばテレビで北朝鮮や東南アジアの子供が飢えている様子を見る

と「パンがなければチョコレートでも食べてれば」みたいなことを平然と言
うタイプです。ちょっと冷たい感じがします。ところがそういう物質的なも
のを要求する一方で、惚れるのは精神的タイプの男性です。自分よりもレベ
ルの低い男には関心がありません。自分よりも経済力のある男で、自分より
も大きなものを考えている男にしか関心がありません。しかも自分が女王様
なのです。「自分の女王的な姿を人に見られたい」という思いがあるので、性
行為中も自分が上になって、男を下にしているところを鏡に映して楽しむよ
うな部分を持っています。

■【かに座・男】女性に従うのが好き

かに座の男性は、見た目は非常に人懐っこく柔らかい印象があります。女

性に対しても「あなたに害は与えないよ」という笑顔をみせます。女性に対して「私は安心だよ」というメッセージを常に発しています。実際、かに座の男性を五人くらいお見合いの斡旋をしましたが、全員が強い性格の女性を選んでいます。自分が支配されるような強い女性を選んでいます。女性に従うのが大好きなようです。ある意味女性を崇拜している感じがあります。そのため女性の心を割合と理解できません。いつも礼儀正しいですが、欲求を隠しているところもあり、隠しているから浮気するという人もいます。そのため奥さんとの間は普通の性行為なのですが、隠している欲求が発散できないので、外に女をつくって変態的なことをやるという人もいました。普通の性行為でなく、ちょっと違うことが好きなのです。ある人はおっぱい星人、ある人は、いちやつくのが好き、ある人は生殖器ではなくアナルに挿入したりします。また女性を崇拜している部分が強調されてしまい、おしっこやウン

口をするとところを見たがったりすることもあり、そういう自虐的な部分を持っています。

■【かに座・女】いちゃつくのが大好き

女性のかに座は面白いです。感情が非常に激しく、自分の気持ちを隠さずに伝えようとしますが、一方で、自分の感情的な問題を解決できません。それでは、どうやって自分の感情を整理したりゴタゴタを解消するのかというと、その解消のためにまぐわいを使うのです。まぐわいが浄化作用になるのです。そのため全力で男に愛情を注ぐように見えます。そして男にのめり込んで嫉妬します。愛情の見返りを求めるところもあります。男に対してサービス旺盛で、男の生殖器をくわえたり、くわえたら離さないような女性が多いのも事

実です。しかし、それは純粋なサービスというより、自分の内面を浄化するために望んでやっています。ですから、そのことで男性が満足するかどうかは、あまり関係なかったりします。かに座の女性は、自分の魂の浄化をするためにまぐわいをするとう理解して下さい。

■【やぎ座・男】良妻賢母を望む

いちやつくのが大好きな、かに座の真反対がやぎ座です。やぎ座は全般的に堅く、「○○○してはいけない」という縛りを持っています。ですから良妻賢母を望んだり、頭が良くおとなしい女性を奥さんに迎えたい欲求があります。そういう心の豊かさを求めます。純真な女性が好きなのですが、「○○○ねばならない」という意識が強いので、逆に、純真な女性を汚すことに喜びを感じ

たりします。そのため相手にバージンを希望する人が多いのもこの星座です。できればそういう女性と結婚し、バージンを自分の手で破ってみたいという隠れた欲求があります。

女性には自分の欲求を満たし、言うことを聞いてくれる便利性を求めます。まず最初に性行為をして、その後愛が生まれてくるタイプの典型です。愛があるから性行為をするのではなく、性行為が始めにあつて、後で愛が生まれてくるタイプです。普段、強い束縛の中で人生を送っているのです、性的にはかなり敏感です。例えば電車の中の女性のストッキングや胸のふくらみを見て敏感に反応してしまいます。何を見ても性的刺激に入ってしまうやすいタイプです。普段から自分を抑制しているので、ある面仕方ないのです。ですから強い性欲を持つ女性を恋人にすると、本当は一番満足するタイプです。これがやぎ座の男性です。

■【やぎ座・女】アブノーマルな性行為はダメ

次にやぎ座の女性です。強い信念を持っていて、それを貫き通します。普通の女性は、「美人だね」「かわいいね」「スマートだね」「素敵なおファッションだね」などと外見をほめられると喜ぶのですが、やぎ座の女性に関してはあまり誉められるのが好きではありません。外面よりも内面を誉められることを喜びに感じます。男の評価も、上っ面ではなくハートをみます。男の生殖器（オチンチン）ではなく脳に反応します。自分に知的な刺激を与えてくれる男性に反応します。面白い男、刺激的な男、新しい世界に自分をガイドしてくれる男などに反応します。常に男を通して学びたいと思っています。もともとが束縛された人生を送っていますから、アナルや急いでの性行為などはタブー

であり、もつてのほかです。普通のきまりきった手順、毎回同じで十分です。毎回同じで飽きてしまうのは、うお座です。やぎ座の女性は、まぐわいの最中であっても、きちんと自分をコントロールしています。まぐわいの最中に全部自分を解放して絶頂に至ることが難しいタイプです。ですから深い性欲を掘り起こすには時間と年月がかかります。

■【しし座・男】無条件に従わせたい

しし座は文字通り、強いライオンです。そして「チャホヤされたい」とか「自分の意見に無条件に従ってほしい」という思いを持っています。これを四柱推命と組み合わせると、甲、丙、戊、庚、壬といった陽干の人の場合、これがわかりやすく表面に出てきます。「自分に従え」という性質があらさ

まに表に出てきます。これが陰干の人になると、一見やわらかい性格に見えますが、実際は人の意見を聞かない人なのです。

筆者の結婚斡旋のビジネスパートナーの男性を例に解説します。この人はフィリピン在住で四柱推命占いでみると日干が己のしし座です。見た目がやわらかく接客が得意ですが、一方、人の意見は聞きません。最後まで自分の意見押し通します。四柱推命と合わせてみると、通常陰干の人と陽干の人とは、ずいぶん違っているものですが、この人の場合「自分の意見押し通す」とか「人の意見は聞かない」「自分の意見に従って欲しい」という欲求がとて強く生活の表に出てくるのです。ですから女性に対しても、真正面から攻めていきます。人間関係は自分が気に入るか気に入らないか、好きか嫌いかのそれだけしかありません。ところが、しし座の男性は自分の気に入っ

た女性から捨てられると非常にショックを受ける特徴もあります。

■乱交パーティーをしていた、あるしし座男性

取引先の人で四柱推命でみると日干が壬で、しし座のある男性が、あるとき奥さんから捨てられてしまいました。奥さんが宗教に走ってしまったのですが、その宗教の教えが「旦那とセックスしてはいけない」という縛りのあるものでした。奥さんは「三年間はまぐわいをさせない」と言ってきたのです。そして、それが原因となって離婚してしまいました。その後男性は、ものすごくショックを受けていました。そういう状態でフィリピンにお見合いに行ってもらいましたが、大変でした。もうお見合いでは満足できず、夜になると街角で客引きしているナイトクラブの女性を五人くらいホテルに連れ込んで、

乱交パーティーをやっていました。これは女性に対する恨みからくるもので、シヨックを受けた仕返しなのです。その男性は、あまりにも派手にやったしまいホテルから追い出しをくらいました。まぐわいにおいても男性が上、女性が下という傾向があり、女性をメイド姿にしてみる場合もあります。「ご主人様として仕えられたい」という欲求を持っています。

■【しし座・女】荒っぽいまぐわい

しし座の女性の場合、出方が男性とはまた違っています。まず男の好き嫌いがはっきりしています。男からチャホヤされたいという欲求もあります。楽しく生きたいという思いが強く、真面目一辺倒みたな男とはつき合いません。例えば音楽をやっていると、スポーツや芸術をやっていると、自分を楽

しくさせてくれるクリエイティブな男でなければ、好きにならないという傾向があります。過去にカウンセリングした女性は共通してこの傾向がありました。まぐわいに関しても全力全身で行います。ですからベッドの上で転げまわり、パートナーと徹底して愛し合い、舐めあいます。荒っぽさがあります。

■【みずがめ座・男】知性や雰囲気服従させる

それと真反対にあるのが、みずがめ座です。範囲外、規格外という特長を持つ星です。組織に収まらないので、男性は自由業が多いです。サラリーマンが勤まるような性格ではありません。不思議な魅力を持っていて「私がリーダーである。私は全てを知っている。君たちの知らないことを私は知っている、だから私に服従しなさい」という雰囲気を持っていきます。服従という面では

しし座と同じですが、しし座の服従が力づくなものである一方、みずがめ座の服従は知性や雰囲気です。ところが、みずがめ座の場合、あまり体験が伴わない知性なので、例えばまぐわいのときに、ベッドの中ではそれほど簡単にバれてしまいます。また人間関係には関心が薄く、自分のことに関心があります。

ですから誰かが自分を嫌ったなら「それなら捨てる」、誰かが自分のことを尊敬している「それなら取り込む」といった感じ。性とまぐわいそのものよりも、自分の信じる理想や思想、願望に浸っているような感じの人です。ただ、そうは言っても、みずがめ座の言っていることはきれいごとなので、ベッドの中ではバれてしまいます。男の正体がバレるのです。女性から見ると一見、自分をいい方向へ導いてくれるマスターや導師のような存在にみせたり演出するのが得意なのです。まぐわいをして「俺はすごいだろう」と認めさせ

たいのです。例えば男性が、「どうだい満足したかい？」というとき、女性は色っぽい目をして「満足したわ」と言わせたいのです。そういう妄想を持った男性なのです。精神的に服従する女性でなければ好きになりません。そして服従させる手段は体力や力ではなく、あくまでも知性です。お金、権力、体力などが無くても、相手を服従させるような知性を持っています。

■【みずがめ座・女性】規格外の発想

みずがめ座の女性は、規格外、範囲外のところがあります。例えば、子供の同級生のお母さんに、「学校の先生ダメよね、大学を出てすぐ教師になって二十年くらい経って、世間知らずでしょ。社会を経験してない先生に何を教えられるの」ということを言います。「小学校くらいなら親が自分で教えれば

いいんじゃないの」とか「小学校は中退でもいいんじゃないの」ということを平気で言っています。こういうことを平気でいう感覚を持っています。ですから社会的な地位や名譽に一切関心がありません。いい悪いの判断も自分の感覚だけなのです。自分がいいと思ったらいいいというタイプです。

ですからみずがめ座の女性は、サラリーマン的な男性を受け入れません。自立して、自由でちよつと変わった信念を持っているような男が好きなのです。堅実にお金を貯めてマイホームをつくりましょう、みたいな男性は嫌いです。

ですから、まぐわいに関しても直球勝負です。コスプレさせたり、女の子の子として欲しいみたいな男性は嫌いです。「やりたいなら早くしましょう」みたいな感じですか。ですからサービスタレントとしてのフェラチオは嫌いです。自分がやりたいと思わなければやりません。男の欲求に応えようという気持ちはあまりありません。「やりたいなら早くやって終わりましたよ」みたいな感じ

です。

そのため、みずがめ座の女性を手に入れようと思うなら、とにかく男は上昇運に乗っていないとダメなのです。「この男は伸びる！」みたいな実力を示しておかなければ手に入れることはできません。

■【おとめ座・男】真面目に女遊びをする

おとめ座の男性です。おとめ座の特長は、よく分析とか実務といわれますが、実際のおとめ座の男性は、見た目は非常にやわらかい印象です。人間関係で対立するとか、議論することがありません。相手の意見を、そのまま受け入れてしまう雰囲気を持っています。しかし、本当は我慢しているのです。人間関係でも我慢しています。それがずーっと長い間貯まると、あるときを境

にドカンと爆発してしまいます。そして徹底的にその人を痛めつける行動に出ていきます。

普段は争い事や人間関係のゴタゴタに、なるべく巻き込まれないように上手に生活していますが、何年かに一回くらい、我慢が積もり積もって爆発すると、裁判や殺傷ざたになる事件を起こすタイプの男性が多いのです。

性的には非常に真面目で、自分が真面目な分だけ女性にも厳しい倫理観を要求します。浮気は許しませんし、女性をお金を買うという人も、私が知る限り会ったことがあります。そういうことに関心が薄いようなのです。ワイ談とか下ネタ話もあまりしません。

例えば、ある五十歳過ぎの経営者の方ですが、最近、新しい彼女ができたというのです。結婚して三十年間浮気をしたこともなかったのですが、あるとき孫ができて、おじいちゃんになってしまったのです。すると、おじいちゃ

んになってしまったことにあ然として、「このまま男が終わってしまおう」という不安を強く感じるようになったのです。

そしてそのことを奥さんに「このまま男が終わるのは嫌だ、もう一回青春を過ごしたい」と相談した上で彼女をつくったというのです。このように厳しい倫理観を持っています。このように奥さんにきちんと「彼女つくってもいい？」と許しを得てから彼女をつくった男性がいました。立派なものです。

■【おとめ座・女】女を武器にデキル男を狙う

おとめ座の女性は、女を武器にする女性です。男に狙いをつけると「何かして欲しいことないですか？」「何かできることないですか？何でもしてあげますよ」のようにムズムズするような言い方をしてきます。「じゃあ一緒にベッ

ドに入って欲しい」と口に出したくなるような喋り方や行動を上手にします。

ただし、おとめ座の女性が惚れる男とは将来のある男です。「この男にくつついていけば将来楽しそうだ」という能力のある男や経済的な見返りのある男を好みます。自分より実力がない男や、収入の低い男には惚れません。ハッキリしています。

「圧倒的な力を持っている男の秘書になりたい」というような感じですか。「一緒に緒になってその男を大きくしていこう成長させていこう」とか「その波に乗って自分もおいしい汁を吸おう」のような部分を持っているのです。ですから十才、二十才年上の男性とも平気で結婚していきます。男性の場合、若い嫁さんもらって満足することが多いです。上手に男の欲求にうまく合わせて、自分も高みに登っていくようなまぐわいをします。男に自由に動いてもらって、自分も少しずつ調節しながら絶頂を感じていく感じですか。ハッキリしないナ

ヨナヨした男は嫌いです。

■【うお座・男】ちょっと変わった感性

それと正反対にあるのが、うお座です。うお座の男性はちょっと変わった感性を持っています。例えば、私の知っている占い師には、うお座の男性が多いのですが、例えば体を売っている売春婦と聖母マリアを同じような感覚でみるのです。そういう感性をしています。「千人の男を知っている女は聖女である」と言い切ります。実際そうなのかもわかりません。中途半端に男と遊んでいる女は単なる淫乱だけど、千人の男を知っている女性は全てのタイプの男を愛することができ、全ての男の性欲を上手に対応できるという意味で聖女なのかもしれません。それを平気で受け入れて、そういう女性と

普通に結婚してしまう男性なのです。ですから研究熱心で、普段は部屋に閉じこもっていることが多いタイプです。

■レズを当てる、あるうお座の男性

また、うお座のある経営コンサルタントの男性は、レズの女性を当てる特技を持っていました。あるとき「社長この女性レズですよ」とクライアアントの社長に言いました。そこでその社長は、社員が帰った後に、指摘された彼女のパソコンの電源を入れてみると、ネットの検索履歴が実際にレズのサイトだったのです。うお座の男性は、そういうセンスを持っています。女性の化粧や服装、肉体よりも、女性の魂のあり方がみえてしまうのです。ですから女性からするとやかいかもしれません。ファッションとか姿形にまどわさ

れません。もつと言うとセックスにも動じません、性行為の最中も、冷静で淡々としています。行為自体は楽しくありません。その行為に入るまでの時間を楽しむ傾向があります。行為自体を楽しむというより冷静に女性を観察している感じです。また、そのコンサルタントは、出張で外に出ると異状に性欲が高まるようで、必ず風俗に行っていました。おそらく隠された欲望がそういうところでフリーになるからでしょう。

■「うお座・女」MでもSでも要求に激しく応じる

うお座の女性は、うお座の男性に似ています。私の知っている、うお座の女性の占い師さんは不幸な生い立ちを経験した人が多いです。子供の頃は「死んでしまいたい」とか「消えてしまいたい」という欲求を持っていました。

そして「こんな生きてる価値のない女の体でも、使ってくれる男がいたらありがたい」みたいな発想になり、簡単に体を与えてしまう占い師さんが多かったです。

結婚紹介でも「害の無い男」や「自分を傷つけない男」を選びます。実際繊細ですので、自分を傷つけない年上の男や、自分に自由を保障してくれる男と結婚するパターンが多かったです。ただし、人によっていろいろと顔を使い分けることができます。二枚舌、三枚舌、十枚舌くらいは見事に使い分けます。相手に合わせてしまうということです。

ですから、まぐわいに關しても、パートナーに激しいことを要求されれば、激しく応じます。例えば変態的な人に「Sになって欲しい」と言われればSの役割をこなします。MといわれればM、アナルを要求されれば応じてしまいます。何でもやってしまうところがあります。

相手の欲求に応えることに快感を感じる性質を持っているので、相手が多様な要求をしてきても、それに応えることが快感になるのです。これがうお座の女性の特長です。ですから、「この男はゲイだ」というのも瞬間的に見抜きます。うお座の男性がレズを見抜くように、うお座の女性はゲイの男性を簡単に見抜いてしまいます。

男の要求になんでも応えようとしていますから、極上の要求を突き立てて欲しいと思っているのです。ですからそういう要求をしてくる極上の男とつき合おうとします。

四柱推命でみる性と愛の相性

本書は星座別の性と愛の内容ですが、特別に古代中国の四柱推命でみる性と愛についてもポイントを解説しておきます。西洋の思想である星座も、東洋の思想である四柱推命も、真反対の星は、隠れた部分を引き出す当人の潜在欲求であるという観点では同じことを言っています。

■【甲と己】知識と感情からスタートする性エネルギー

甲の人は、何でも知識から入っていく癖があります。甲と真反対の己になると、これが反対になります。感情から入っていく癖があります。この真反対が相性がいいという教えなのです。

■【乙と庚】保証つきの“まぐわい”を望む

乙の人は、安定した性を好みます。ところがと真反対の庚は逆です。大胆にやってみたい。全てを試してみたいというタイプです。この真反対が相性がいいという教えなのです。

■【丙と辛】こだわりのある性エネルギー

丙の人は、肉体的な快楽を求めます。それに対して真反対の辛は、精神的なこだわりが強く、表面的には全く逆です。この真反対が相性がいいという教えなのです。

■【丁と壬】穏やかな性エネルギー

丁の人は、非常に穏やかな干です。一方、と真反対の壬はかなり激し性的

欲望を持っています。「心を許せる相手と」という部分は丁と一緒にですが、肉体的な結合状態をずっと長く続けたいという欲求があります。この真反対が相性がいいという教えなのです。

■【戌と癸】自分の性を解放できる

戌の人は、他人から必要とされるのであれば、自分の性を解放することができます。逆にと真反対の癸の人は、とことん相手の選別にこだわります。この真反対が相性がいいという教えなのです。

四柱推命でみる相性や愛のあり方は別冊で詳しく紹介したいと思います。